

2020年3月25日

令和元年度3月 学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 尾家祐二

この度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響拡大に伴い、関係する皆さまの健康面・安全面を考慮し、感染拡大のリスクをできるだけ減らすために、北九州ソレイユホールで予定しておりました令和元年度九州工業大学学位記授与式の中止を決定しました。卒業生・修了生の皆さまや、保護者および関係者の皆さまのお気持ちを察すれば、学位記授与式は節目となる大切な行事であり、この門出の日を心待ちにされていたことと存じますが、皆さまの安全確保と感染拡大防止を最優先とし極めて残念ではございますがこのような決断に至ったこと、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

このような状況ではありますが、改めまして、本日、栄えある門出を迎えられました皆さんに、まずもってお祝い申し上げます。また、この日まで卒業生・修了生を物心両面から支えてこられました保護者、関係者の皆さまに対しまして衷心よりお祝い申し上げます。

九州工業大学を卒業・修了されるこの機会に、皆さんがこれから活躍し続けるために大切なことについて一緒に考えたいと思います。そのために、2つの話題を取り上げます。最初は、社会が元気であり続けるために必要なインフラについて、次に個人が豊かな人生を送るために必要な資質等についてです。

まず、昨年末、中国湖北省武漢市を中心に広がった新型コロナウイルス感染症について申し上げたいと思います。ご存じのように、その感染症は世界中に伝播し、今なお、予断を許さない状況が続いています。お亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますとともに、ご家族等関係者の皆さまならびに罹患されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。国境を越えて多くの人達が行き来する今日において、感染症も国境を越えて瞬く間に広がる可能性があります。今回、私たちの社会生活とともに、国内及び国際的な経済活動も、大きな影響を受けました。グローバル化が進展し、多様な人達が交流しあうこの時代において発生する感染症に関し、国家レベル、市民レベルにおける相互理解と対応スキルを改善し続けていく必要があります。そして、国内外において、適切な情報公開、情報共有を推進し、分断や差別ではなく、連携しあうことが一層重要になると思います。

そこで、改めて社会が元気であり続けることについて考えたいと思います。フランスの経済学者であるダニエル・コーエンはその著「経済と人類の1万年史から、21世紀世界を考える」（作品社）において、近代国家の経済成長は国民国家の近代的枠組みに依拠し、富を生産するためには、資本、人材、効率的な社会制度が必要であると指摘しています。そして、人材に関連しては、教育と公衆衛生の必要性を指

摘しています。公衆衛生とは、広辞苑で、「国民の健康を保持・増進させるため、公私の保健機関や地域・職域組織によって営まれる組織的な衛生活動」と説明されています。そして、この度の感染症を含む伝染病予防も含まれます。さらに、健康については、世界保健機関憲章前文（日本 WHO 協会仮訳）(<https://www.japan-who.or.jp/commodity/index.html>)において次のように述べられています。「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。世界中すべての人々が健康であることは、平和と安全を達成するための基礎であり、その成否は、個人と国家の全面的な協力が得られるかどうかにかかっています」、と。社会が元気であり続けるためには、社会システムとして、人の健康に配慮する仕組みの充実が必要であることが理解できます。それと同時に、教育に関しては、豊かな学びの機会が提供される仕組みが重要であります。そして、このようなことに対する国家レベルおよび市民レベルでの理解が一層必要であると言えるのではないのでしょうか。

次に、個人として皆さんが、楽しく有意義な人生を送るために必要な基盤について考えたいと思います。それは、先ほど話しました社会にとって必要な事柄と共通しています。つまり、教育と健康に関連し、各個人が学習し続ける意志を持つことと、健康であるように努めることだと思います。その上で、様々な私的、社会的活動を行うことができます。その際に、どのような資質や能力がさらに必要となるかについて、またフランスの経済学者ですが、ジャック・アタリはその著「危機とサバイバル」（作品社）において、21世紀を生き抜くための7つの原則について述べています。その中で、自己を尊重すること、共感力を備えること、独創性等を持つことの必要性が挙げられています。まず、自己を肯定すること、自分自身を貴重な存在だと認識することは大事です。他者への尊重、責任感もその上で認識できることでしょう。次に、共感力および好奇心については、「他の文化の価値や慣行を理解する能力、彼らの思考に入り込むことなどの資質」とされています。さらに、独創性については、「危機を好機に変えるポジティブな思考力」が必要であると指摘しています。

私たちは、現状に関してさえ、未来についてはさらに、いつも不完全な十分ではない情報しか得られません。その上で社会及び世界は絶え間なく変化し続けており、そのような状況の中で、私たちは、判断し、行動しなければなりません。したがって、自分もしくは自分が属する組織にとって好ましくない問題が生じる可能性は大いにあります。もし、課題や危機が発生したとしても、それらに真摯に向かい合い、「危機を好機に変えるポジティブな思考力」を発揮させ、共感力を駆使して、協力してくれる人達を得て、チャンスに変えて欲しいと切に願います。未来を切り拓く主役は皆さんです。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産として、今後活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠におめでとうございます。